

ナブテスコ株式会社

2026年12月期第1四半期 決算説明会資料

2026年4月30日

常務執行役員

碓井 浩

1. 当社は、2025年7月31日にComer Industries S.p.A.と締結した当社及び連結子会社の油圧機器事業に係る株式譲渡契約に基づき、新たに設立した完全子会社（コムテスコ株式会社）に同年12月31日付で同事業を吸収分割の方法により集約し、コムテスコ株式会社の発行済株式の70%について、2026年1月1日付で譲渡を完了しました。これにより、コムテスコ株式会社は当社の持分法適用会社となりました。また、2025年12月期の実績については、油圧機器事業を非継続事業に分類したことにより、売上高、営業利益、税引前利益について、非継続事業を除いた継続事業の金額を表示し、四半期利益（当期利益）、親会社の所有者に帰属する四半期利益（当期利益）は、継続事業及び非継続事業の合算を表示しています。
2. 中東情勢の緊迫化による影響に関しては、現時点で先行きが引き続き不透明な状況であることから、2026年12月期連結業績予想には織り込んでおりません。

前年同期比 増収増益

連結売上高：830億円(YoY+17%) 連結営業利益：82億円(YoY+68%)

1

- 増収が大きい事業
精密減速機（+48億円）、自動ドア（+40億円）、船用機器（+22億円）
- 増益が大きいセグメント
CMP（+16億円）、TRS（+8億円）、ACB（+7億円）

計画に対し、全社売上・営業利益は順調な進捗

(通期計画への進捗率) 売上高：25%、営業利益：30%

2

- 通期計画の売上、営業利益は据え置き。税引前利益以下の各利益は上方修正
 - ✓ 1Q営業利益実績は通期計画に対し順調な進捗
 - ✓ 税引前利益の修正は主に「持分法による投資利益」が増加したことによる

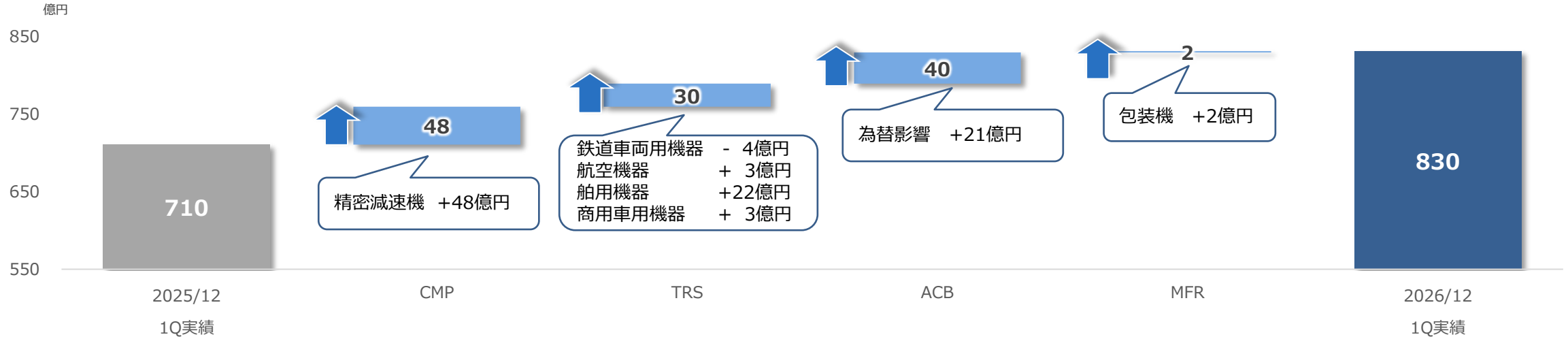
■ 前年同期比で売上とすべての利益が増加し、営業利益率は3.0pt改善

(単位：億円)	2025/12	2026/12	前年同期比	前年同期比	2026/12	進捗率	2026/12	進捗率
	1Q実績	1Q実績	増減額	増減率	通期計画 (2/12公表)		上期計画 (2/12公表)	
	(A)	(B)	(B-A)	(B/A-1)	(C)	(B/C)	(D)	(B/D)
売上高	710	830	120	17%	3,270	25%	1,574	53%
営業利益	49	82	33	68%	277	30%	112	73%
(営業利益率)	6.9%	9.9%	3.0pt	-	8.5%	-	7.1%	-
金融損益	-5	0	6	-	-	-	-	-
持分法投資利益	3	14	11	306%	-	-	-	-
税引前四半期利益	47	96	49	105%	280	34%	114	84%
親会社所有者に帰属する 四半期利益	33	55	22	67%	176	31%	46	119%

※2026年12月期第1四半期の結果を受け、「税引前四半期利益」及び「親会社所有者に帰属する四半期利益」の業績予想を修正しております。
修正の詳細は当資料の13ページに記載があります。

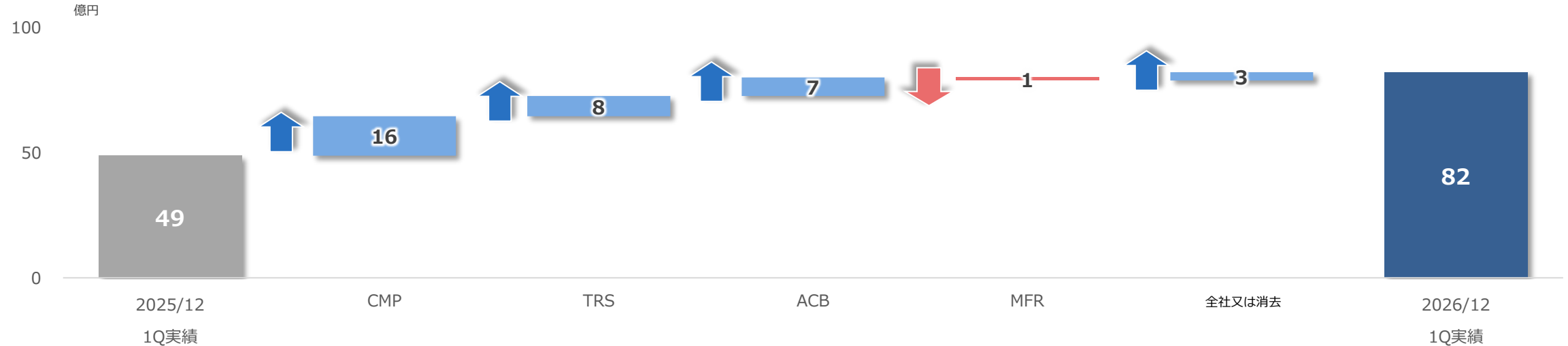
売上高

■ 精密減速機の需要回復に加え、TRS、ACBの需要が堅調に推移し増収



営業利益

■ 増収による増益に加え、Project 10が順調に進捗し増益



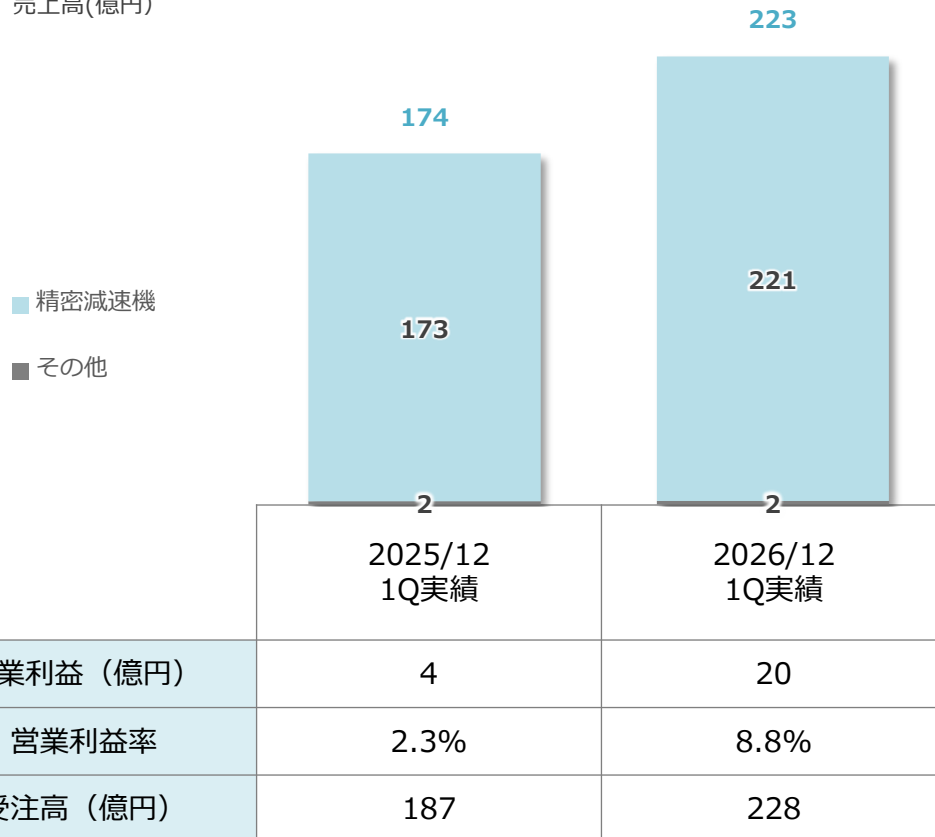
(単位：億円)		2025/12	2026/12	前年同期比	前年同期比
		1Q実績 (A)	1Q実績 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (B/A-1)
コンポーネント ソリューション (CMP)	売上高	174	223	48	28%
	営業利益	4	20	16	394%
	(営業利益率)	2.3%	8.8%	6.6pt	—
トランスポート ソリューション (TRS)	売上高	219	249	30	14%
	営業利益	33	41	8	25%
	(営業利益率)	14.9%	16.4%	1.5pt	—
アクセシビリティ ソリューション (ACB)	売上高	282	322	40	14%
	営業利益	34	41	7	22%
	(営業利益率)	12.0%	12.8%	0.8pt	—
マニファクチャリング ソリューション (MFR)	売上高	35	37	2	4%
	営業利益	3	2	-1	-41%
	(営業利益率)	8.1%	4.5%	-3.5pt	—
本社又は消去		-24	-21	3	—
連結合計	売上高	710	830	120	17%
	営業利益	49	82	33	68%
	(営業利益率)	6.9%	9.9%	3.0pt	—

2026/12	進捗率
通期計画 (2/12公表) (C)	(B/C)
886	25%
70	28%
7.9%	-
1,076	23%
181	23%
16.8%	-
1,108	29%
101	41%
9.1%	-
200	18%
28	6%
14.0%	-
-103	20%
3,270	25%
277	30%
8.5%	-

2026/12	進捗率
上期計画 (2/12公表) (D)	(B/D)
418	53%
27	73%
6.5%	-
523	48%
83	49%
15.9%	-
546	59%
43	96%
7.9%	-
87	42%
10	17%
11.5%	-
-51	41%
1,574	53%
112	73%
7.1%	-

前年同期比 増収 ↗ 増益 ↗

売上高(億円)



セグメント業績 (前年同期比)

事業	業績
精密減速機	【ロボット向け】中国・韓国の自動車メーカーで設備投資需要が回復
	【ロボット以外】工作機械、半導体製造装置向けで需要が回復
営業利益	増収による増益と、価格転嫁効果、経費等の発生遅れもあり増益

通期見通し



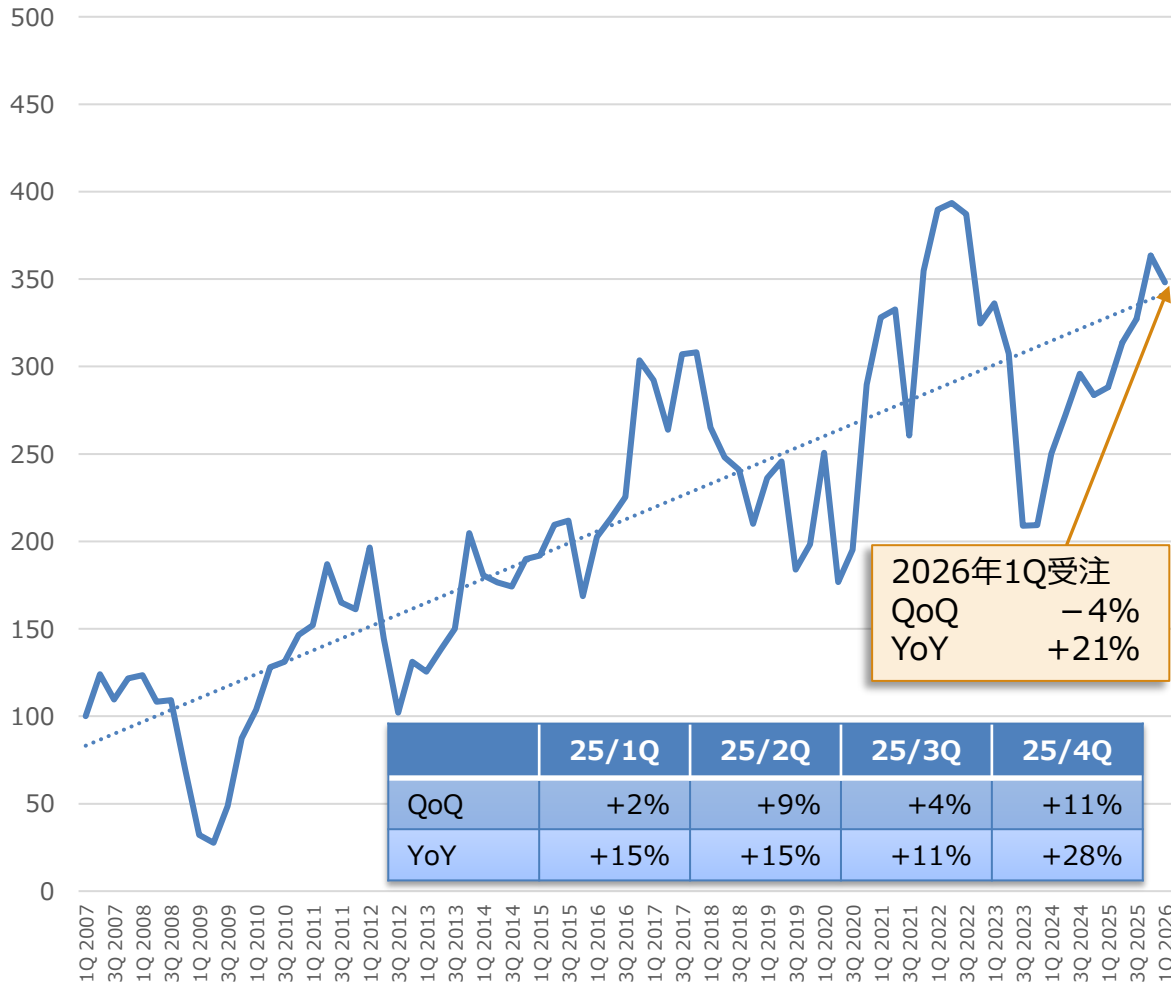
事業	市場環境
精密減速機	【ロボット向け】 ・日本 安定的な自動化ニーズにより大きな需要環境の変化なし ・中国 中国では新興EVメーカーで設備投資需要堅調 ・北米 一部自動車メーカーで需要回復の動きがあるものの本格回復は下期を見込む ・欧州 引き続き需要の低迷を見込む
	【ロボット以外】 工作機械・半導体製造装置向けともに需要は堅調

トピックス

RV miniの販売は2026下期から納入開始を見込む

2026年1Qの受注減少は2025年4Qに前倒し需要が発生した反動によるもの

精密減速機 受注推移

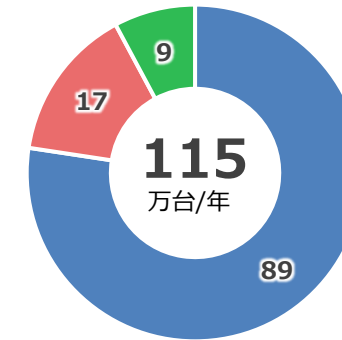


2007年1Q受注を100とした指数

生産能力と稼働率

生産能力

2024/3Q~現時点



- 日本工場（津）
- 中国工場（常州）
- 日本工場（浜松）

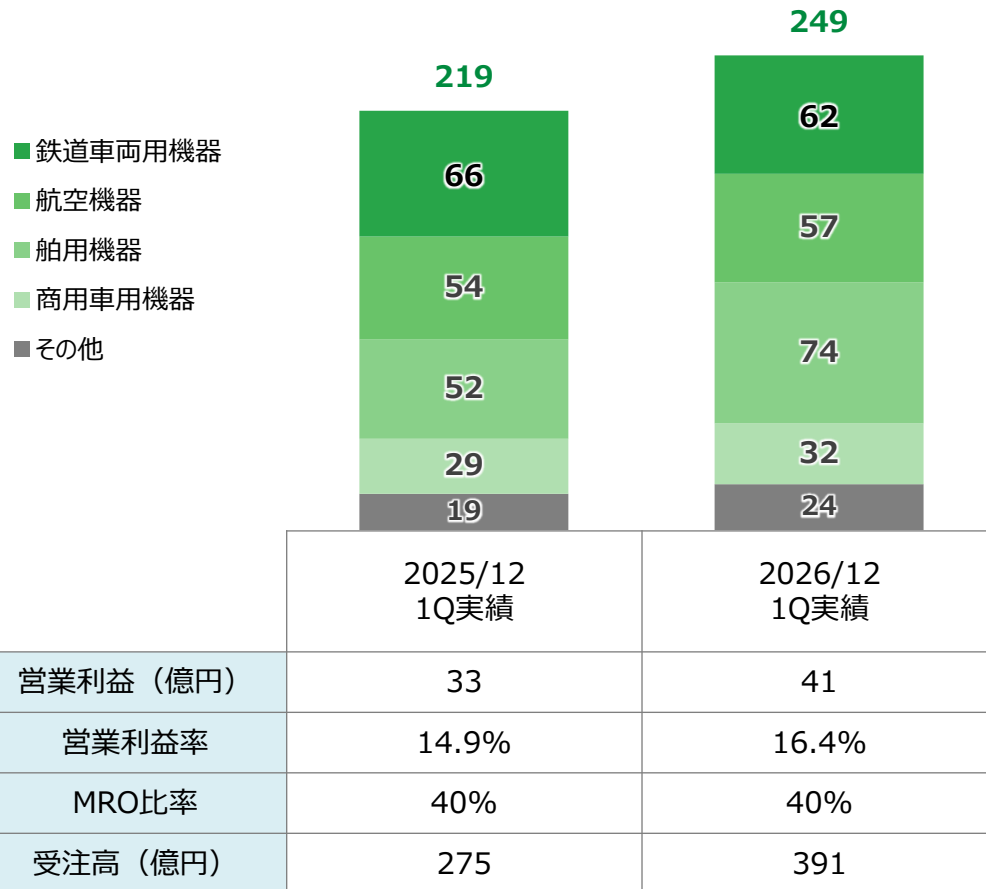
各工場の稼働状況

工場	稼働率				
	25/1Q	25/2Q	25/3Q	25/4Q	26/1Q
津工場（日本）	60%	65%	70%	70%	75%
常州工場（中国）	95%	110%	110%	115%	90%
浜松工場（日本）	徐々に生産数量拡大中				

※上記稼働率は3直20日/月を前提に算出

前年同期比 増収 ↗ 増益 ↗

売上高(億円)



セグメント業績 (前年同期比)

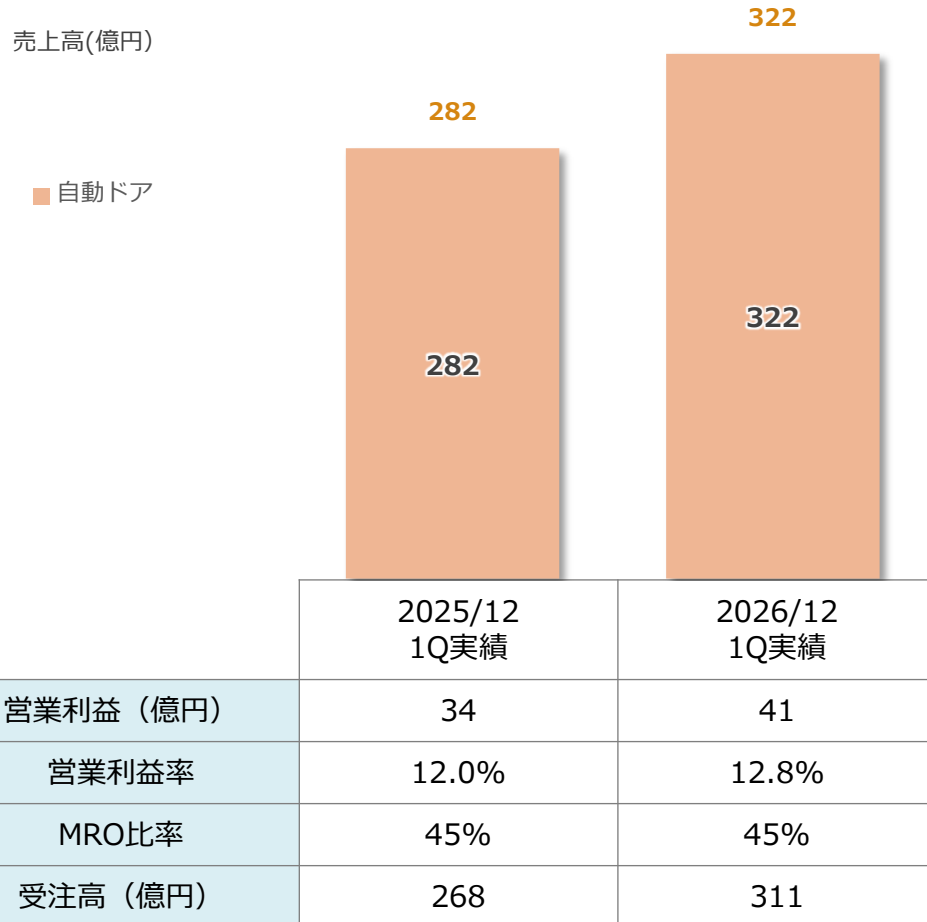
事業	業績
鉄道車両用機器	中国地下鉄向けは好調も、中国高速鉄道向けMROの減少があり減収
航空機器	防衛費の増額による需要拡大により増収 受注は防衛・民間ともに大幅に増加
船用機器	中国を中心とした新造船向け需要とMRO需要が好調で増収
商用車用機器	国内市場の緩やかな需要回復もあり増収
営業利益	増収により増益

通期見通し



事業	市場環境
鉄道車両用機器	【新車】 中国地下鉄向けの需要は堅調
	【MRO】 中国高速鉄道向けは一段落も、国内外で底堅く推移
航空機器	【防衛】 好調な需要が継続
	【民間】 生産レート増加に従い増加の見込み
船用機器	新造船向けおよびMROとも好調な需要が継続
商用車用機器	国内堅調に加え、下期は東南アジア市場の回復を見込む

前年同期比 増収 ↗ 増益 ↗



セグメント業績 (前年同期比)

※PD:プラットホームドア

事業	業績
自動ドア	【国内】 新規建物用ドアは需要の端境期となり微減
	【海外】 欧州、北米で建物用ドア需要が回復
PD※	【国内】 プロジェクトが進行し増収
	【海外】 既存案件が進捗し減収
営業利益	増収による増益に加え海外事業の収益性改善

通期見通し



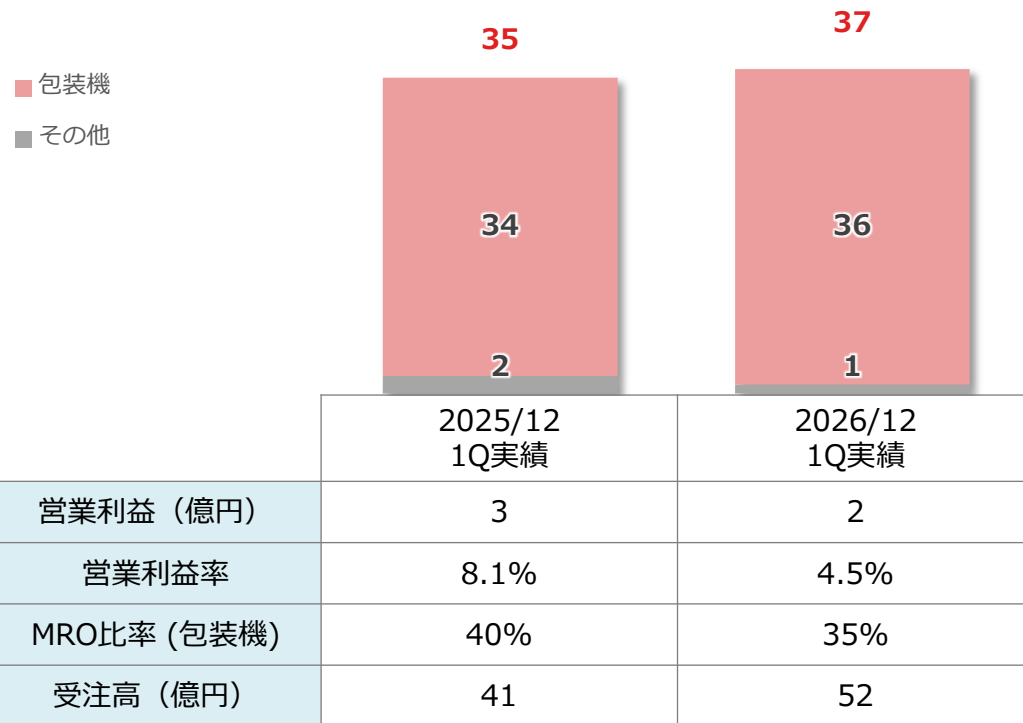
事業	市場環境
自動ドア	【国内】 新規建物用ドアは需要の端境期
	【海外】 欧州、北米市場は堅調な需要を見込む
PD※	【国内】 需要は堅調
	【海外】 設備工事付きの継続案件として香港、グラスゴーを残すのみ

前年同期比 増収 ↗ 微減益 ↘

セグメント業績（前年同期比）

事業	業績
包装機	国内の食品メーカーでの設備更新需要、生産増強の動きがあり増収 海外案件はアジアを中心に減収
営業利益	海外向け主機売上減少により微減益

売上高(億円)



通期見通し



事業	市場環境
包装機	【国内】 食品メーカーを中心に設備投資は好調が継続
	【海外】 下期に設備投資が再開し、需要回復を見込む

■コムテスコ社（油圧機器事業）の株式譲渡により、同事業に関連する資産が減少

(単位：億円)	2025/12 期末 2025年12月31日	2026/12 1Q末 2026年3月31日	差異
資産	4,640	4,446	-194
（現預金等）	733	806	73
（売上債権）	786	719	-68
（棚卸資産）	528	567	39
（売却目的で保有する資産）	437	-	-437
（非流動資産）	2,076	2,153	78
負債	1,752	1,586	-166
（借入金）	450	425	-25
（売却目的で保有する資産に直接関連する負債）	123	-	-123
資本	2,888	2,860	-28
（売却目的で保有する処分グループに関連するその他の資本の構成要素）	19	-	-19
（非支配持分）	169	119	-50
親会社の所有者に帰属する持分	2,719	2,741	22
親会社所有者帰属持分比率：	58.6%	61.7%	3.0pt

■ 持分法による投資利益の変動や法人税等の見直しが期中に発生したことにより税引前当期利益以下を修正

(単位：億円)	2026/12	2026/12	増減額 (B-A)	2026/12	2026/12	増減額 (D-C)
	上期(2/12) 計画 (A)	上期(4/30) 計画 (B)		通期(2/12) 計画 (C)	通期(4/30) 計画 (D)	
売上高	1,574	1,574	0	3,270	3,270	0
営業利益	112	112	0	277	277	0
(営業利益率)	7.1%	7.1%	0.0pt	8.5%	8.5%	0.0pt
税引前当期利益	114	120	6	280	286	6
親会社所有者に帰属する当期利益	46	63	17	176	186	10
1株あたり当期利益 (円)	39.25	53.76	14.51	150.19	158.72	8.53
ROE (%)	-	-		6.5%	6.9%	0.4pt
ROIC (%)	-	-		5.8%	5.8%	0

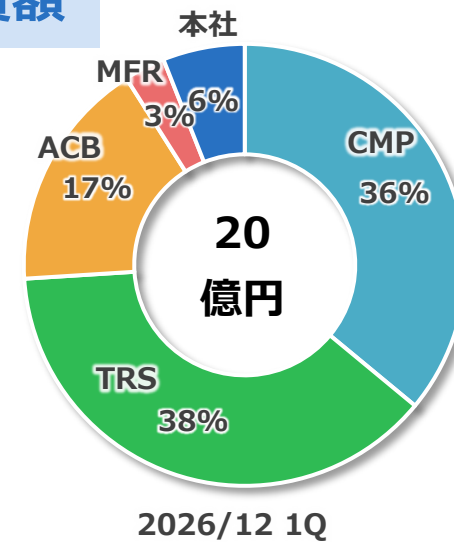
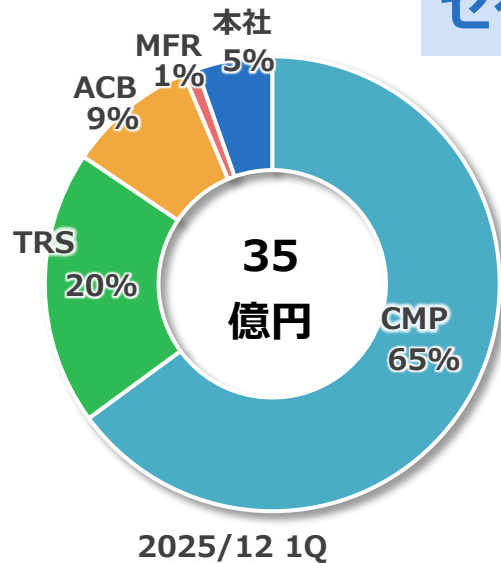
Appendix

■ 主な設備投資は老朽化設備の更新

(単位：億円)	2025/12 1Q実績 (A)	2026/12 1Q実績 (B)	前年同期比 (B-A)
設備投資額	35	20	-15
研究開発費	26	30	4
減価償却費	40	44	4

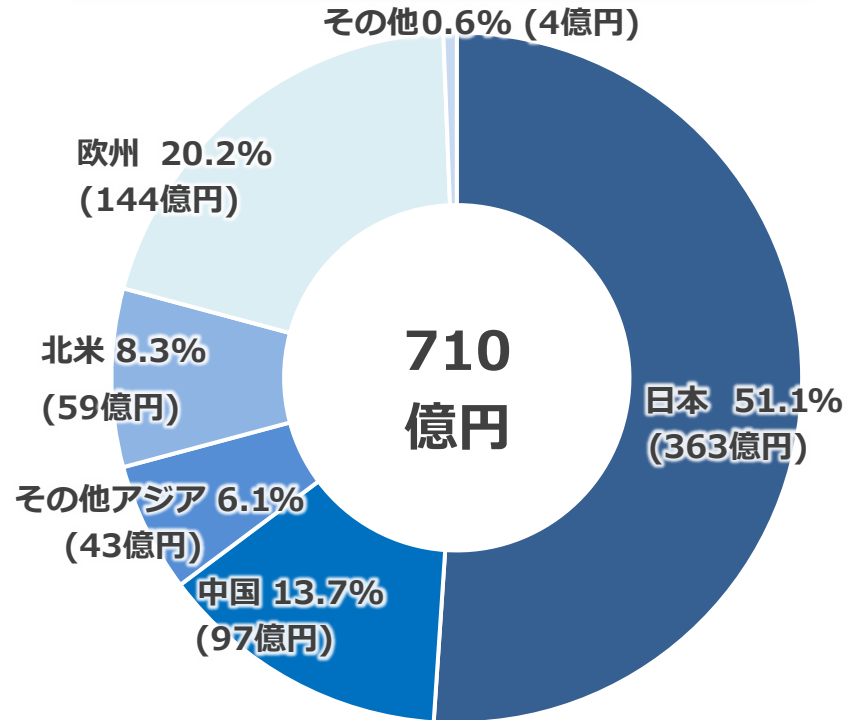
2026/12 通期計画	2026/12 通期計画 進捗率
125	16%
127	24%
168	26%

セグメント別設備投資額



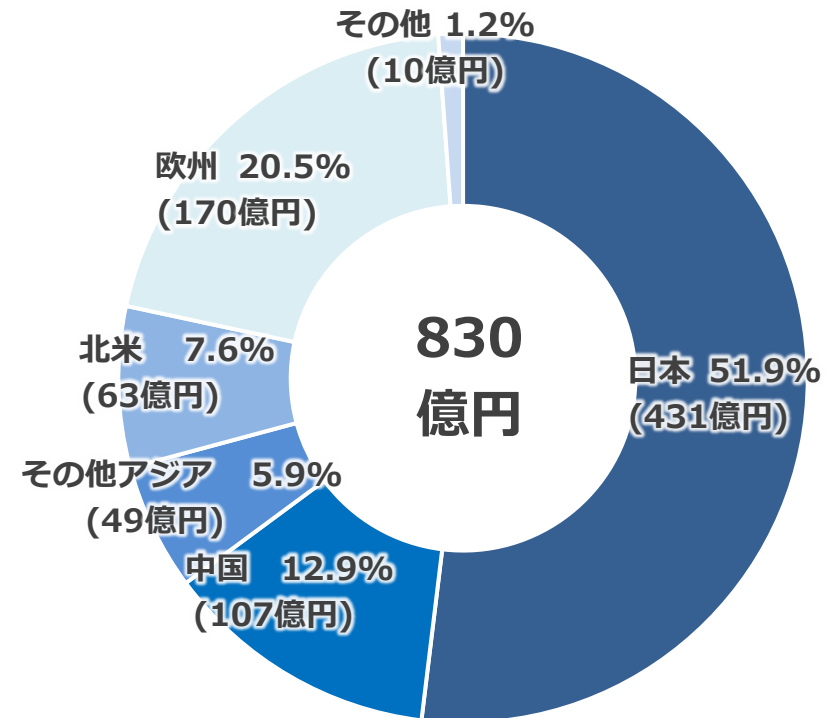
2025年度実績には油圧機器を含んでおりません。

2025/12 1Q実績



海外売上高	348億円
海外売上高比率	48.9%

2026/12 1Q実績



海外売上高	399億円
海外売上高比率	48.1%

■ 為替レート

(単位：円)	2025/12 1Q実績	2026/12 1Q実績	2026 通期見通し
USD	151.21	156.45	145.00
RMB	20.99	22.57	20.50
EUR	159.35	183.53	170.00
CHF	168.68	200.63	185.00

■ 為替感応度（為替が1円変動したときの影響額）

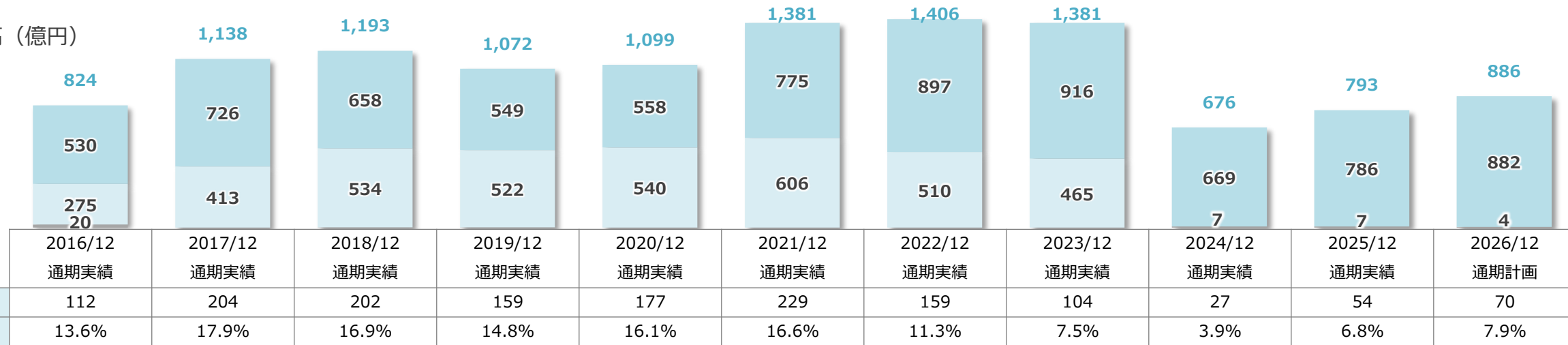
(単位：百万円)	2026/12 1Q実績	
	売上	営業利益
USD	39	13
RMB	329	54
EUR	21	3
CHF	62	4

2026/12 通期見通し	
売上	営業利益
206	46
1,455	221
85	2
254	11

コンポーネントソリューションセグメント (CMP)

売上高 (億円)

- 精密減速機
- 油圧機器
- その他

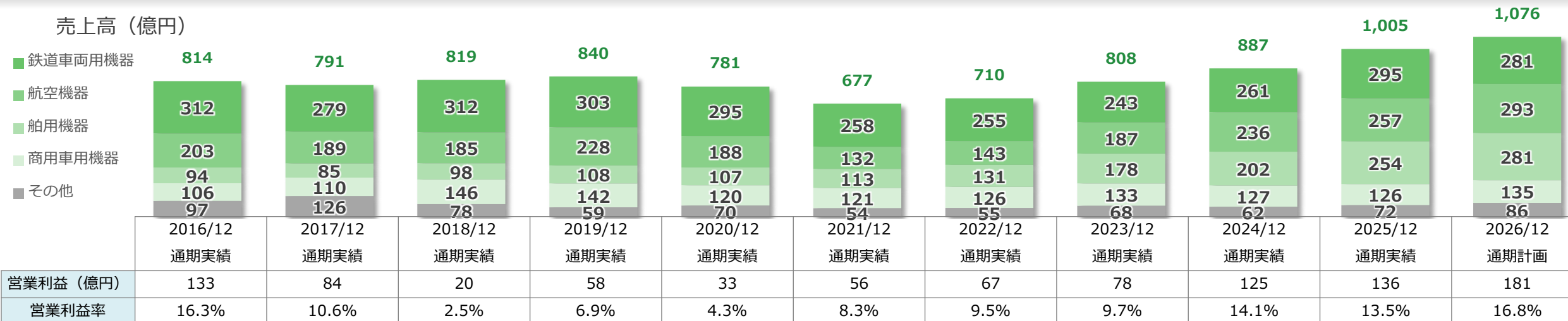


※油圧機器事業を2025年度に会社分割したことから、2024年度以降上記表に含めていません。

トランスポートソリューションセグメント (TRS)

売上高 (億円)

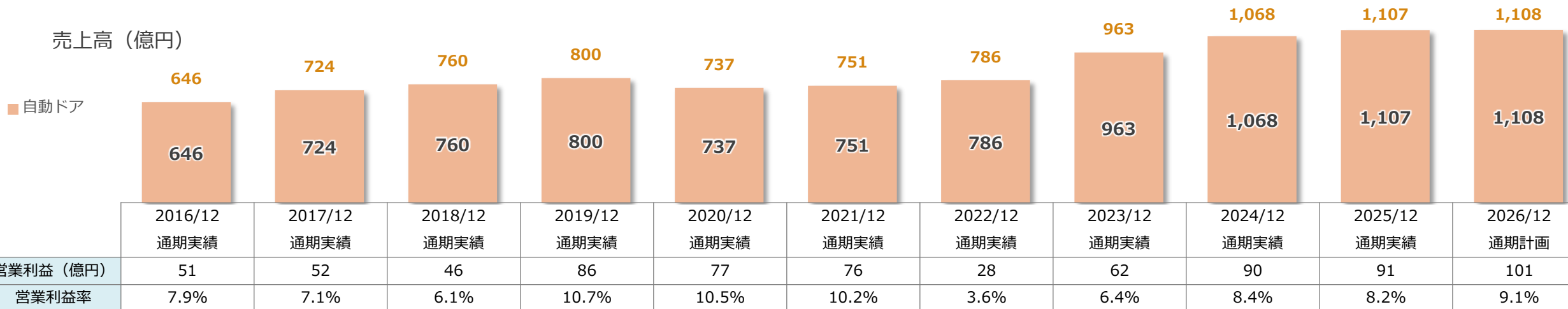
- 鉄道車両用機器
- 航空機器
- 舶用機器
- 商用車用機器
- その他



※従来の説明資料と事業の説明順が変更になりました。

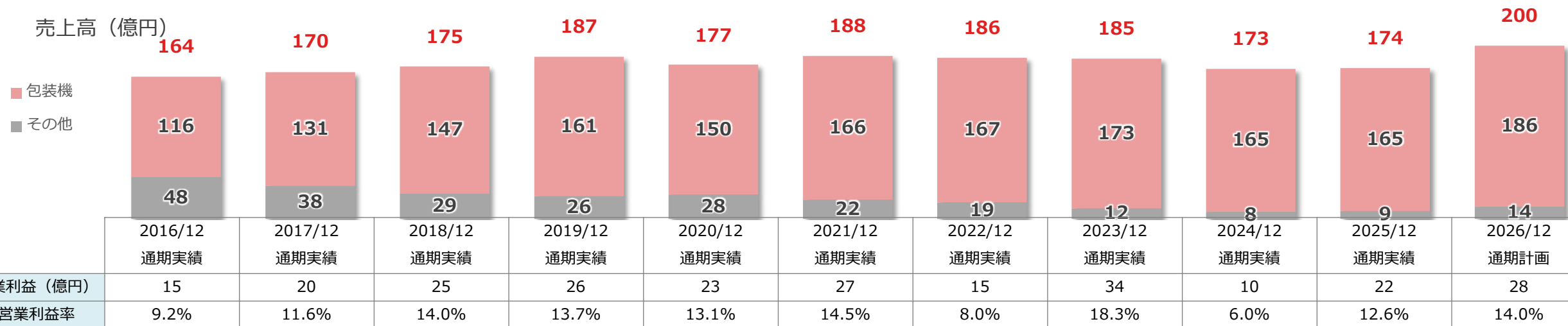
アクセシビリティソリューションセグメント (ACB)

売上高 (億円)



マニファクチャリングソリューションセグメント (MFR)

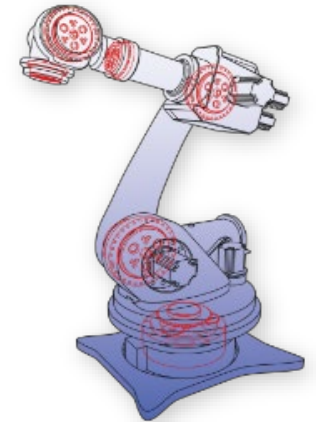
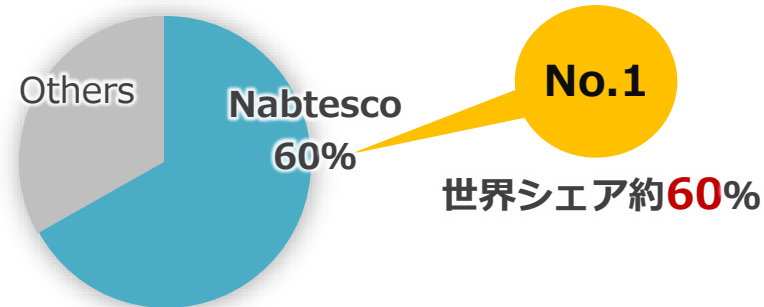
売上高 (億円)



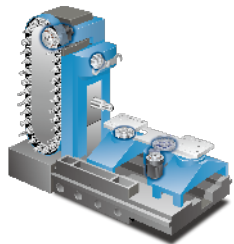
精密減速機

戦略17分野

■ 中大型産業用ロボットの関節用途

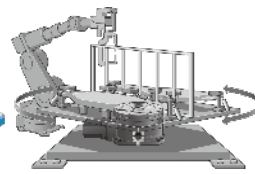


産業用ロボット以外の用途事例



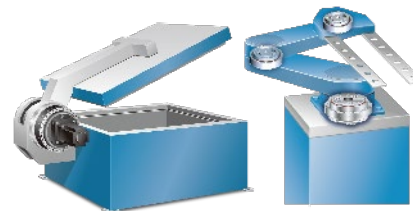
工作機械

ツールチェンジャー / トラニオンテーブル



溶接

ポジショナー



半導体製造装置

チャンバー開閉装置/移載装置



通信用

アンテナ



医療用

X-ray



物流用

AGV/AMR

主要顧客 (敬称略)

■ 精密減速機

産業用ロボット：ファナック、安川電機、川崎重工業、KUKA Roboter (独)、ABB Robotics (スウェーデン)

工作機械：ヤマザキマザック、オークマ、DMG森精機

注：シェアは当社推計

鉄道車両用機器

■ 鉄道車両用ブレーキシステム

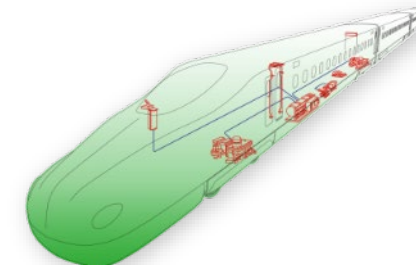


No.1 国内シェア約**50%**

■ 鉄道車両用ドア開閉装置



No.1 国内シェア約**60%**



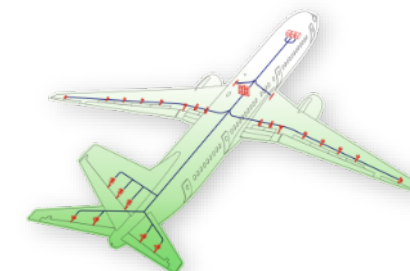
航空機器

戦略17分野

■ フライトコントロール・アクチュエーションシステム(FCA)



No.1
FCAの国産機
シェア約**100%**



主要顧客 (敬称略)

■ 鉄道車両用機器

JR各社、民鉄各社、日立製作所、川崎重工業、中国高速鉄道・都市交通向け、海外鉄道各社

■ 航空機器

Boeing (米)、川崎重工業、三菱重工業、IHI、防衛省、エアライン各社

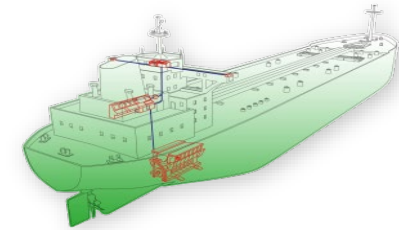
船用機器

戦略17分野

■ 船用エンジン遠隔制御システム



世界シェア約**40%**
(国内シェア約45%)



商用車用機器

■ 商用車用ウェッジチャンバー

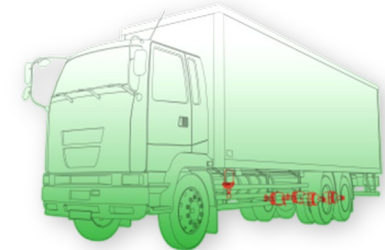


No.1 国内シェア約**80%**

■ 商用車用エアドライヤー



No.1 国内シェア約**60%**



主要顧客 (敬称略)

■ 船用機器

ジャパンエンジンコーポレーション、川崎重工業、マキタ、日立造船マリンエンジン、三井E&S
HD Hyundai Heavy Industries (韓)、Hudong Heavy Machinery (中)、Hanwha Engine (韓)

■ 商用車用機器 いすゞ自動車、日野自動車、三菱ふそうトラック・バス、UDトラックス

注：シェアは当社推計

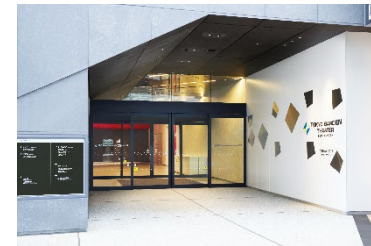
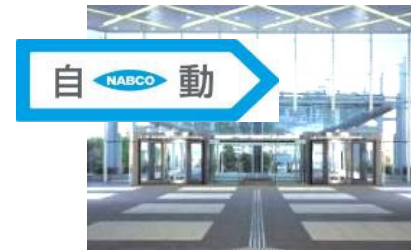
自動ドア

■ 自動ドア開閉装置



No.1

建物用自動ドア
国内シェア約**60%**
(世界トップクラス)



主要顧客 (敬称略)

各種建物用自動ドア：大手ゼネコン他建設工事会社、サッシメーカー、病院、銀行、公共機関
プラットホームドア：JR・民鉄各社、各国都市交通向け

マニファクチャリングソリューションセグメント (MFR) 主要製品

包装機

■ レトルト食品用充填包装機



No.1

国内シェア約**85%**



主要顧客 (敬称略)

■ 包装機

DM三井製糖、味の素、丸大食品、アリアケジャパン、ケンコーマヨネーズ、P&G、花王、ライオン、北米飲料メーカー、中国食品メーカー

うごかす、とめる。

Nabtesco

